

地域の読書活動を支える 39名が「認定絵本土」に 県内唯一の認定機関・帝塚山大学から2期生輩出 認定証授与式を6/26(木)に実施(於:学園前キャンパス)

帝塚山大学(学長:奥村由美子 所在地:奈良市帝塚山7-1-1)教育学部こども教育学科は、6月26日(木)、学園前キャンパスにおいて、「認定絵本土」の認定証授与式を実施します。

昨年、奈良県で初めてとなる「認定絵本土」を輩出した本学。2期目となる今年度は、新たに39人の4年生が絵本専門士委員会(事務局:国立青少年教育振興機構)から「認定絵本土」として認定されました。認定証授与式では、「認定絵本土」となった学生が決意の言葉を述べるとともに、紙芝居や絵本の群読(集団で詩や物語を読むこと)などを披露します。



昨年度の認定証授与式の様子

【「認定絵本土」認定証授与式】

日時:6月26日(木) 14:50～

場所:帝塚山大学 学園前キャンパス 18号館4階 18411教室(〒631-8585 奈良県奈良市学園南3-1-3)

出席者:(授与される学生)教育学部こども教育学科 4年生 39名

(列席者)3年生「こどもと絵本Ⅰ」(認定絵本土養成講座科目)の受講者40名

当日の次第:・教育学部長から認定証を授与および挨拶

・代表者による決意の言葉

・ミニおはなし会 紙芝居・群読の披露(15分程度)

「認定絵本土」の学生、および「認定絵本土」をめざす教育学部の学生は、養成講座で培われた知識や技能をもとに、奈良市立中央図書館での「おはなし会」や地域の幼稚園での絵本の読み聞かせなど、地域に根ざした読書普及活動で活躍中です。

【認定絵本土とは】

「認定絵本土」は絵本専門士委員会が認定する絵本の専門家の資格。絵本に関する深い知識や高度な技術を認めるもので、2019年度からスタートした制度です。本学では、2023年4月から「認定絵本土養成講座」を教育学部に設け、「認定絵本土」を養成しています。絵本専門士委員会(事務局:国立青少年教育振興機構)から「認定絵本土養成講座」の開設が認定されている大学などの機関は、2025年4月時点で全国でわずか64機関。奈良県内では唯一本学のみが認定を受けています。

「認定絵本土」に認定された後、一定の実務経験を経て絵本専門士委員会から認められると、絵本の専門家である「絵本専門士」と認定されます。

貴社メディアにおかれましても、ぜひ趣旨をお汲み取りいただき、取材ならびに報道のご協力をよろしくお願い申し上げます。駐車場のお手配が必要な場合は、前日までにご連絡ください。

取材および
内容に関する
お問い合わせ

帝塚山大学 入試広報課 〒631-8501 奈良市帝塚山7-1-1

Tel:0742-48-9149 E-mail:koho@jimu.tezukayama-u.ac.jp(担当:鈴木)